



「ソピア（知恵）の旗」だより

ソピアとはギリシア語で「知恵」という意味であり、本校の校歌の歌詞にある言葉です。



2020・2月 NO. 9

おおがたソピア塾を開催



1月8日（水）に、公益財団法人日本サッカー協会審判「デベロプメントフィサー」として審判育成に従事している名木利幸さんを講師としてお招きし、「令和元年度おおがたソピア塾」を開催しました。

講師の名木さんは、2014年の「FIFAワールドカップ」で、開幕戦のブラジル対クロアチアの試合で審判を務め、ワールドカップで審判をした初の日本人として日本中の注目を集めた方です。

講演は、「夢の実現に向けて～世界への挑戦～」という演題で行われ、人生の中で選択を迫られた時の選択の仕方や価値観を、生徒同士で考えさせ、その内容を全体にフィードバックしながら、展開しました。

講演後は、生徒同士が「人生一度きりなのだから、自分の好きなことを本気で取り組んでみてもいいのではないかな。」などと意見を交換し合っている姿も見られました。生徒たちは、様々な価値観や考え方があることに気づくとともに、将来設計を考え直すよい機会となったと思います。



福祉避難所運営訓練を地域と一緒に交流



1月11日（土）に、役場や地域の方と一緒に福祉避難所開設訓練を行いました。「福祉避難所」とは、災害時に特に配慮が必要な方（ご高齢者や妊婦さんなど）のための避難所のことです。今回は一般の避難所である大方高校と、福祉避難所である「にしきの広場」とで連絡を取り合い、避難者の方を安全に避難させる訓練をしました。



その後福祉避難所では、非常食を用いた調理体験や、避難所を開設する訓練などを行いました。参加した8名の大方高校防災委員は、非常用ライトを設置したり、自家発電機を使ったりと、普段学校ではなかなかできない体験をしました。反省会では、地域の方の生の声を聞くことができ、また高校生の意見も聞いてもらうことができました。生徒たちは、日ごろから地域の方と交流しながら、災害に備えていくことの大切さを改めて感じる一日になったと思います。



輝け！グリーンレモン～活かせ地域の特産品



1月13日（月）に岡山県で開催された、「全国高校生マイプロジェクトアワード2019」の中四国 Summit に、2年生2名が出場しました。総合的な学習の時間で取り組んでいる、地域の特産品を使い「道の駅ビオスおおがた」の集客力を高める取組について発表しました。



生徒は審査員の前で堂々と発表をし、学校部門にエントリーをした54の実践発表からグループ予選を通過し、10校で行う決勝でも発表することができました。生徒達はこの経験を活かし、更なる成長をしてくれるものと期待しています。以下、参加をした生徒の感想です。



私はこの大会に参加をして、対応力とコミュニケーション能力の大切さに気付きました。発表ではパソコンが使えなくなるトラブルが発生しましたが、内心焦りながら「何とかしないと！」の一心で無事その場を乗り切ることができました。また、審査員からのいろいろな質問にも自分なりに答えることができたと思います。そして、県外の生徒と交流や意見交換をする機会が多くあり、とても貴重な経験をすることができました。今回参加をして本当に良かったと思います。

防災植物の授業での学び



1月21日（火）2年生がライフセービングの時間に、日本防災植物協会・事務局長の斉藤香織さんを講師にお迎えして、本年度2回目の防災植物の授業に取り組みました。今回のテーマは「冬の防災植物 ～七草～」でした。講義の後、中庭に出て七草の材料や食べられる植物、毒のある植物などを斉藤さんは実際に手に取りながら教えてくださいました。その後、七草がゆを作りみんなで試食しました。



生徒からは「災害で避難した時は食べ物がなくなり、栄養も偏るので、防災植物のことを知っていれば役に立つと思いました。」「災害時に命を繋ぐだけではなく、周りの植物にも目を向けることで、人間と自然の共存を考えるきっかけになりました。」などの感想が聞かれました。



東日本大震災メモリアル day 2019に参加!

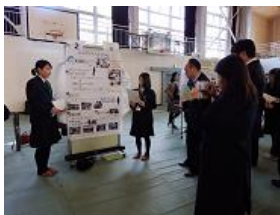
1月25日～1月26日に宮城県にて開催された「令和元年度みやぎ防災ジュニアリーダー養成研修会東日本大震災メモリアル day2019」に、本校から1年生の中澤さんと山崎さんが参加しました。研修会には、宮城県内や全国各地から多くの高校生が集まり、防災について学びながら交流を深めました。



被災地スタディツアーや多賀城まち歩きでは、被災した地域を見て回りました。震災を経験した方々の生の声を聴けたことは、とても貴重な経験となり、今後の防災教育に活かしていきたいと思いました。

ポスターセッションでは、本校の「地域とともに考える防災教育」について発表しました。この1年間の防災活動での経験をもとに、堂々と発表や質疑応答をする姿に、生徒の成長を感じるとともに、今後への期待が高まりました。

生徒は、「いろいろな方から直接アドバイスをもらい、とても勉強になった」・「学んだことを他のみんなにも伝えていきたい」と言っていました。今後も防災の担い手として、率先して活動してもらいたいです。



総合的な探究の時間 学習成果発表を実施

1月29日(水)、本校多目的教室にて、1年生の「総合的な探究の時間」の学習成果発表会が行われました。この発表会のテーマは「黒潮町の課題を発見する」です。テーマの解決に向けて、1年生は10月から7班に分かれ、班で話し合いを繰り返し、課題について整理してきました。

この探究活動の中でインタビューに伺わせていただいた事業所の方も今回の発表会にはご出席くださり、多くの方に見られる中での発表となりました。生徒たちは大変緊張した面持ちでしたが、それぞれの個性を生かした発表ができたようです。

来年度には、今年発見した課題を解決するための探究活動が始まります。更なる深い学びができるよう、今回の発表会で頂いた意見を参考にし、来年度に向けて生徒教職員一丸となって活動に取り組んでいきたいと思ひます。



2年生の修学旅行無事終了

1月28日(火)～2月1日(土)、4泊5日の行程で2年生が修学旅行に行ってきました。

29日・30日の両日は、長野県の菅平スキー場でスキー研修、31日はディズニーランド、2月1日はスカイツリー・ソラマチという行程でした。

スキー研修では、一面の雪景色に感動しながらスキー・スノーボードを体験し、ディズニーでは夢の国を楽しみ、スカイツリーでは上から見下ろす東京の街に、生徒たちは感動をしていたようです。楽しいながらも集団生活の規範を学んだ5日間となりました。以下、生徒の感想です。

- ・スキーでは、講師の先生からアドバイスをもらったけど、いざやってみるとすごく難しかったです。ですが2日目になると、少しずつできるようになり、スキーが楽しく感じました。何事もあきらめずに頑張ると結果はついてくるのかなと思った。
- ・今回の東京ディズニーランドは、人が普段よりもかなり少なかったので、アトラクションの待ち時間も少なく、たくさん乗れてうれしかったです。友達ともさらに仲良くなることができました。

